

# 来月1日 全国デビュー

ジュノハート

青森県開発サクランボ

7月1日に全国デビューするジュノハート（青森県提供）



青森県が開発したサクランボの独自品種「ジュノハート」が、7月1日に全国デビューを迎える。東京の伊勢丹新宿店と新宿高野本店で1日に取り扱いが始まり、2日からは大阪の阪急うめだ本店（大阪市）でも販売。具体的な販売数量は、収穫量を踏まえ6月下旬までに決まる。  
（大澤諒）

## 新宿高野、伊勢丹で販売

大阪は2日から

ジュノハートは3L（横径28ミ以上）サイズの大玉で、糖度20度以上の甘さが特長。プレデビューした昨年は県内でのみ販売され、今年初めて全国で売り出される。

県によると、伊勢丹と阪急の2店舗では、ジュノハートに加え、ジュノハートの中でも着色の良い上位等級品「青森ハートビート」を数量限定で発売する。県産ブランド食材としての希少さをアピールするため1パック1、2粒の少量販売を想定している。

新宿高野ではパック販売をせず、果実を使用したパフェとケーキを扱う。三村申吾知事が2日に阪急、3日に伊勢丹と新宿高野の店舗を訪問し、店内放送でPRする。新型コロナウイルスの感染防止のため、人が密集する集客イベントは行わない。  
県によると、本年産のジュノハートの収穫量は約600トンの予定で、全体の1割程度が青森ハートビートとして出荷される。生育状況は順調という。

令和2年6月18日 デーリー東北 掲載

※この画像は、当該ページに限ってデーリー東北新聞社が利用を許諾したものです。